

## 平成28年度第1回事務事業評価における総括

部 局 名	保健福祉部	記入責任者	朝日 美波
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>平成27年度に保健福祉部の業務計画に位置付けた事業では、51事業のうち、指標を達成し成果が上がっている37事業（72.5%）でS評価とし、概ね順調に進捗しています。</p> <p>しかし、事業の指標は達成できなかったが、成果はあがったものとしてA評価としたものが13事業、事業の指標を概ね達成し、成果は今後見込めるものとしてB評価としたものが1事業あることから、政策・施策目標の達成に向けて、事業の見直しを改めて行う必要があります。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>業務計画に位置付けた重点事業については、事業の指標の達成状況にバラつきはあるものの、多くの事業において成果が上がっている一方で、部局全体での時間外勤務時間数は、一人当たりの月平均時間外勤務時間数が約24時間と庁内21部局中7部局目に多い状況になっています。日中は窓口対応や庁内外での事業、各関係機関との連絡調整など時間を要することが多く、時間外に事務処理を進めていることや保健所政令市移行の準備の本格化などが要因ですが、この点については、引き続き、非常勤嘱託職員や臨時職員の活用や事業実施方法、事務フロー等の見直しをすすめることで縮減に向けて取り組んでいく必要があります。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた各事業の今後の方向性について】</p> <p>今後も所管する保健、福祉の各制度や国民健康保険、介護保険事業等を適正に運営するとともに総合計画及び各計画に掲げた基本理念のもと、共に見守り支え合い、すこやかに暮らせるまちづくりの推進について、庁内関係部局を始め関係機関、関係団体等と連携し、各事業を進めていきます。</p> <p>事業の実施に当たっては、引き続き各制度の適正な運営に努めるとともに、効率的、効果的な手法を検討し、政策・施策目標の達成に向け取り組んでいきます。また、限られた財源の中、新たな事業を展開する一方で、市民ニーズの低下した事業等の縮小、統合、廃止に向けた取り組みも進めていきます。</p> <p>目前に迫った29年4月の保健所政令市移行については、市民生活への影響を最小限とし、スムーズな業務移管を実現するため市保健所の運営体制の確立に向けて準備を進めるとともに、人材の確保及び育成の計画的な取り組みにより、現在の保健所業務の水準を維持・向上するとともに、地域保健・公衆衛生をさらに向上させ、市民に身近な保健所の運営を目指します。</p> <p>平成30年度の国民健康保険事業の県単位化を踏まえ、保険料の収納率の向上に関する事務について、取組を強化（必要人員の確保）し、更なる収納率の向上による税財源の確保を目指します。</p>			

